

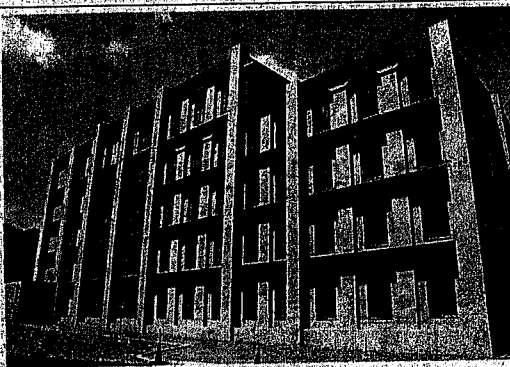
2013年(平成25年)9月17日 火曜日

徳島病院の 新病棟完成

来月から使用開始

老朽化に伴い、国立病院機構徳島病院(吉野川市鴨島町敷地)が建設を進めていた新病棟が完成し、16日、記念式典が行われた。今後、5病棟の入院患者が順次移り、10月1日から使用を始める。

完成した国立病院機構徳島病院の新病棟。吉野川市鴨島町敷地



新病棟は鉄筋コンクリート5階延べ8000平方メートル。1階が筋シストロファイア病棟(60床)で2、3、4階は一般病棟(計180床)、5階には総合病棟も改修しており、デリハビリティーションセンターを整備した施設をターを置く。1床当たりとして本年度中に完成させる予定。総工費は約16億1千万円。

記念式典には、足立克巳院長ら関係者約80人が出席し、神事やテープカットで完成を祝った。式の後には内覧会があり、施設内を

見て回った。(大野真味)

県の災害医療支援指定

阿波病院など 5機関を追加

徳島県は17日、大規模災害発生時に災害拠点病院をバックアップする災害医療支援病院に5医療機関を指定し、支援病院の活動内容などを定めた「災害時等における医療救護活動に関する協定」を各医療機関と結んだ。新たに指定されたのは阿波病院(阿波市)上那

賀病院(那賀町)三野病院(三好市)徳島病院(吉野川市)東徳島医療センター(板野町)で、支援病院は8カ所となった。県庁で式典があり、飯泉嘉門知事が各医療機関の院長らと協定書を交わした後、指定証を手渡した。支援病院は拠点病院に患者が集中するのを防ぐため重症以外の患者を受け入れるほか、拠点病院が被災した際には代替拠点となる。拠点病院には県立中央、徳島市民、徳島赤十字など11病院が指定されている。(久保高成)

2013年(平成25年)9月18日 水曜日